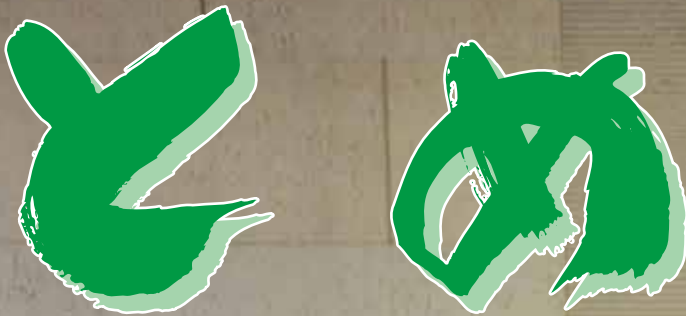


—あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ—



# 市議会だより

2019

第60号

11月21日



## 登米市子供議会2019



### 目次

特集1 子供議会2019 .....	2
特集2 台風19号被害 .....	6
9月定期議会 .....	8
常任委員会報告 .....	14
一般質問 .....	18

# 特集 1

## かがやけ未来世代！ インタビュー

### 登米市子供議会2019

# 新鮮なアイディアがいっぱい

とめ青年会議所主催・登米市議会共催で開催

『登米市子供議会2019』。本番を前に子供議員としての、意気込みを伺いました。

では、自己紹介をしてください。名前と学校と夏休みの宿題で苦労したことを教えてください。



事前研修を終えて、インタビューを行いました。



中田中学校 古内 琴さん  
(子供議会議長)

**千葉** 新田中2年の千葉海咲です。苦労した宿題は読書感想文です。最終日近くに終わらせることになったんですけど、「星の王子様」を今回は書いて、面白そうだなあって、書きやすいかなって思って書いたんですけど、すごい難しくって、思いつかなくて、目標の4枚半めちやくちや絞り出して書きました。

見ていないようにしっかり細工するのが難しかったです。  
**千葉** ああ、途中間違ったり、式飛ばしたりね(笑)。  
**佐々木** そう。そのテクニクが難しい。  
**伊藤** 登米中学校の伊藤優太です。宿題で苦労したのは同じく読書感想文です。残り2日になっても本が決まっておらず、ラスト一日でもう読み

終わっていた本を書きました。  
**古内** 中田中学校2年の古内琴です。夏休みの宿題で苦労したのは、読書感想文で、書くのはいいんですけど、本が長すぎて。先生から借りたのはいいんですけど、最後まで読めなくて、こんな感じかなあと思いついて書きました。



米山中学校 佐々木 愛斗さん

今回の子供議会に自分から手を挙げた人は？

**古内** はい。

**千葉** 私は学校で執行部なんですけど、生徒会から選ばれた・・・。

**一同** うんうん！

**進行** じゃあ、生徒会の人は？

**全員** はい。

**進行** 生徒会のメンバーに声が掛かったの？

**千葉** はい。「やって」って言われて。あなただからねって、義務的に言われました。

**古内** わたしは執行部に声が掛かった時、手を挙げました。

5月から研修してきたけど、どう思った？

**千葉** 初めて来たとき、男の



新田中学校 千葉 海咲さん

人ばかりで、不安だったんですけどみんなフランクに話しかけてくれて、すごくやりやすかったです。

**古内** 今日は医療をテーマにしたのですが、前回在宅医療のドラマを考えていて、それを本当に実現してほしいなと思っていました。そうすれば子供が見ても、「こういう医療があるんだ」

「こういう医療があるんだ」

と判るから、実現してほしい。  
**伊藤** 今日来た時に議員の人たちが、「問題多い」的なことを言っていたので、22日の子供議会本番にはしっかりと市長に伝えたいと思います。  
**佐々木** 難しいことばかりでよくわからないと思っていました。

今日は農業班で研究しましたが、「ちっちゃなことでも言ってみろ」と言ってもらって、やりやすいと思いました。

今回の子供議会のイメージ的なものはありますか？  
**千葉** 最初の印象は難しくても、かたいイメージがあった。普通にやりやすいし、みんな



登米中学校 伊藤 優太さん

な優しくしてくれて、自分の意見が出しやすい環境とと思ったので、すごく良いです。

**古内** ガタガタ震えながら意見を言う印象でしたが、普通に友達と話すようにでき、気楽と感じました。

**伊藤** 僕は子供議会というから、子供だけで話すのかと思っていましたが、大人の人のたちとまともにやり取りするのだと。

**佐々木** 頭固い人ばかりでつまらないところだと思っていましたけど、自分のやりたいことができるし、課題に取り組むのも楽しいです。

子供議会まであと2週間です。不安と期待、どっちが大きい？

**古内** 期待です。  
**佐々木** 不安です。  
**千葉** どっちかなあ。不安かなあ。

**伊藤** 不安しかありません。でも頑張って答弁引き出します。

**千葉** 公の場で、答弁引き出せるか。その場で緊張しちゃって、言い返せるか・・・。返す言葉思いつかなかったらどうしようか、とか。

**佐々木** 質問して、返されて。それに対して何か言うっていう性格じゃないんで、不安です。

**古内** 議長なので、リーダーシップをとり、きちんと進められるよう頑張ります。本番に期待しています。ありがとうございます。

次ページは10月22日に開催した、子供議会一般質問の内容です。



佐沼中学校2年 坂本 怜菜

**問** 学力向上のためには、本市の図書館での本の冊数が少ないことを含め、図書館の新設が必要。自習スペースを確保し、学習環境の整備や民間とのコラボも考えてはどうか。

**答** 登米市図書館構想に基づき、建設場所や事業費を具体化し進める。既存施設を有効活用し、学習スペースの確保に努める。民間とのコラボは、他自治体を参考に検討する。



石越中学校2年 佐々木将真

**問** 本市では小児科医療を行っているところが少ない。医療の充実のため、医師の定員確保と、昼夜を問わない医療の提供を望む。

**答** 本市には13の小児診療を行う医療機関がある。昨年常勤医師が1名となったことから、小児病棟を休止とした経過がある。10月から新たに2名の常勤医師の勤務により、小児医療体制の充実に努める。



東和中学校2年 後藤 玲奈

**問** 本市の人口8万人は多くない。地域振興には交流人口を増加させることが必要だ。「はっとフェスティバル」のように特産品を活かしたイベントを増やしてはどうか。

**答** 観光客のニーズが多様化し、これまでの「見る観光」だけでなく、食や体験、交流の「体感する観光」が求められている。若い世代、高齢者・外国人が訪れる取り組みを行う。



米山中学校2年 佐々木愛斗

**問** 仙台市に比べると本市はショッピングモールの数が少ない。数が増ければ行きやすいし、市外の方々も多く来てくれる。大型ショッピングモールを増やしてはどうか。

**答** 整備にあたっては、民間企業に期待するところが大きい。参入しやすい条件整備も必要となる。若者にも、移住者や観光客にも魅力ある街づくりを提供できるような環境を整備する。



南方中学校3年 高橋 亮太

**問** 他の自治体では、外国人観光客が増えていると感じている。本市ではどうなっているか。また、外国人観光客へ配慮はできているか。

**答** 本市においても徐々に増加していると捉えている。そうした中で、本市を訪れる外国人観光客への案内表示などの配慮が大きな課題である。



豊里中学校2年 千葉 冬華

**問** 本市では毎年色々なイベント行事が行われ、たくさんの人々にぎわっている。本市では年間いくつのイベントが行われているか。費用はどれくらいで、制限はあるか。

**答** 現在本市では56のイベントを実施している。観光・スポーツ、そして地域のお祭りなどがあげられる。事業費の一部を補助金として支援している。



津山中学校2年 及川 真大

**問** 生徒の大半は自転車で通学している。通学路は草が繁茂し通行することが困難で危険だ。地面の隆起・地盤の不安定な場所もあり、誰もが安心して暮らせる整備を望む。

**答** 道路の維持管理に関する通報は、年間1千件以上となっており、優先順位を見極め対応している。全ての道路に対応することは難しいが、危険な個所の解消に努める。



登米中学校2年 木村あずさ

**問** 登米町には流域面積が日本で4位の北上川がある。その魅力を知ってもらい、川下りやキャンプ、そしてきれいな景観を通して、誇りをもってPRしてはどうか。

**答** 市民が歴史を学び、先人たちに思いをはせ、貴重な食と文化芸術を含め後世へ守り伝えることが重要だ。今後も母なる大河、北上川の魅力を発信する取り組みを進める。



新田中学校2年 千葉 海咲

**問** 市の観光スポットをもっと活用するため、具体的な事業を何か考えているのか。

**答** 例えば、市の観光スポットを巡るバスツアーなどがある。これまでも、本市の春を巡る「花の名所等無料周遊バス」を実施している。今後も観光物産協会や関係機関と連携を図り、情報発信に努めていく。



石越中学校2年 酒井 優彰

**問** 市でも高齢化などで、空き家・空き地が目立ち始めている。

これらを市で管理し、例えば、商店や畑、花壇、観光案内などに活用することで、より良い登米市になるのではないかと。現在、824戸の空き家が確認されている。公共施設など、市の計画に適した立地条件であれば活用は可能だが、商店などの建設は民間の事業となる。

# 登米市の未来を考える



中田中学校2年 日野 太智

**問** 中田町石森地区のヨークベニマル付近交差点の県道側は一部、歩道がないため危険と感じている。安全に安心して歩行するため、歩道を設置してほしい。

**答** 交通量が増加しており、県に対して、歩道未設置区間の整備について、強く要望して来た。今後も整備に向け、継続して要望を行っていく。



豊里中学校2年 藤村 ゆう

**問** 市には陸上競技場がないため、陸上の大会は栗原市まで行かなければならない。市の活性化のためにも、陸上競技場を建設すべきと考えます。

**答** 昨年度、建設候補地である中田総合体育館周辺の調査を実施した。今後、整備費用の負担軽減の精査を行いながら、建設に着手する時期を検討していく。



津山中学校2年 西條 琴音

**問** 道の駅「津山」の集客を目指し、週末のイベントとして、木工体験やはつと作り体験など、お客様参加型の企画に力を入れて実施することを提案する。

**答** 市内の道の駅では、パンやそば打ち体験などの参加型イベントを開催している。今後、情報共有を図りながら、誘客につながる事業の充実を図っていく。



新田中学校2年 千葉 寧々

**問** 市では医療費が18歳まで無料と聞いた。他にも子育てに向けての支援の取り組みは行っているか。

**答** インフルエンザ予防接種費用の助成拡大や認定こども園の整備、保育料は国基準より約4割低い。また、誕生祝金として、第1子に3万円、第2子に5万円、第3子に10万円を贈呈している。



南方中学校3年 鈴木 稚菜

**問** 高齢者が運転免許証を安心して返納できる環境が整っているだろうか。その環境づくりとして、市民バスの運行を増やすべきではないか。

**答** 現在、市民バスの利便性の向上に向け、運行時刻や路線の見直しを行っている。デマンド型乗合タクシーの導入を推進するなど、運転免許証を返納できる環境づくりに取り組む。



佐沼中学校3年 小林 京胡

**問** 「迫図書館」や「南方情報センター・るるば」などの公共施設は閉館時間が午後5時までのため、学校帰りに利用できない。多賀城市立図書館など、夜間も開館している図書館を参考に、利用価値のある施設にしてほしい。

**答** 本市の図書館についても、望ましい閉館時間や休館日について、再度検討を行う。



米山中学校2年 佐藤 めい

**問** 市民バスは、通学生の利用で満員になる事があると思う。私も利用した時、乗車する人が多く、乗るのにぎりぎりだった。車両を大きくしたり、増便を考えたべきではないか。

**答** 朝の通学時、非常に混雑している便もある。現在、ルートの一部延伸や時刻の見直しを行っており、車両の大型化や増便することなく利便性の向上につながるものと考えている。



東和中学校2年 高橋 日和

**問** 市内外からの交流人口を増加させるため、新たな名産品の開発が必要ではないか。そこで、市民や中高生に新しい名産品のアイデアを公募してはどうか。

**答** 新しい名産品づくりに、生産者や販売店、飲食店など、さまざまな方々が一体となって取り組む必要がある。どのような取り組みが必要か検討していく。



登米中学校2年 伊藤 優太

**問** 市内に大学や専門学校があれば、卒業後に市内に就職し人口を増やすことができるのではないかと。また、大学の農学部を設置してもいい、卒業後は市内で農業に携わることで、人口増加にもつながると思うが。

**答** 上級学校の誘致は、地域の活性化につながり、専門分野のスペシャリストの育成も可能となる。一方、誘致には多額の財政負担を伴うなどの課題もある。



中田中学校2年 古内 琴

**問** 市内には、子どもが遊ぶ施設があまり無い。雨の日でも、小さな子どもから中学生、そして大人でも楽しめる施設が絶対必要と考えるが。

**答** 市内には、雨天でも気軽に運動に親しめる施設が15施設ある。今後、室内アスレチックやボルダリング、スケートボードなど、室内で楽しめるスポーツ施設についても検討していきたい。

# 台風19号被害 自助・

# 共助・公助で復旧に全力



多くのボランティアに応援をもらい、早期の復旧が図られました



今回の台風19号は、全国で大きな被害をもたらしました。本市でも家屋の浸水や市道の洗掘、山からの土砂の流出など甚大な被害が発生しました。被害に遭われました市民の皆様には心からお見舞いを申し上げます。また、昼夜に渡り復旧に取り組んでいただいている皆様や、多くのボランティアの方々に感謝と御礼を申し上げます。  
登米市議会としても災害復旧に全力で取り組んでまいります。



大友クリニックを濁流が襲う(津山町柳津)



登米市議会災害対策連絡会議を開催

## 被害状況について (10月28日時点)

- 人的被害
  - ・死者 1名 負傷者 2名
- 住家被害
  - ・床上浸水 106戸 床下浸水 201戸
- 公共施設被害
  - ・市道等の被害(冠水・陥没) 709カ所
  - ・土砂崩れ 36カ所
- 生活関連被害
  - ・停電 2,490戸
  - ・断水 65戸



大量の沢水が道路を削る(津山町横山)



大量に寄せられた稲ワラの現状を視察(迫町北方)



東和総合支所駐車場に集められた災害ごみ



生活道路の土砂撤去(東和町米川)



沢から石が民家を襲う(東和町米川)



濁流に押し流された車(津山町柳津)



市の簡易水道施設の基礎が流出(東和町米川)

市長等の給料の月額の特例に関する条例

市長給与3割減・副市長2割減  
教育長・病院事業管理者は1割減

Q なぜ今の時期なのか。当初予算で示すべきでなかったか。  
A 本来であれば、施政方針の中で示すべきだったと思う。選挙公約の思いと重なって、今の時点での提案となったのか。  
Q 今回の提案は、選挙公約と全く切り離していただきたい。  
A 削減で生み出されたお金は何に使う考えか。

◎市長等の給料の月額の特例に関する条例の制定  
今後、持続可能な行政運営を行うっていくに当たり、「まずは自らの処遇をもって対応すべき」との考えのもと、市長の任期中に限り、市長、副市長、教育長及び病院事業管理者の給料を減額するもの。  
期間 元年10月1日から3年4月28日まで  
減額の割合 市長100分の30、副市長100分の20、教育長・病院事業管理者100分の10(削減額は別表参照)

条例の改正

◎市長等の給料の月額の特例に関する条例の制定  
A 出来るだけ市民ニーズに応えられる、私の政策予算にも活用できると考える。  
◎他の特別職の報酬や職員の人件費の削減は考えていないか。  
A 今のところ考えていない。職員の給料は生活給であり、全く手を付ける考えはない。今後、管理職手当を削減することは、選択肢の中にはある。

(別表)

	現行	改正	減額分(19カ月)
市長	91万1,000円	63万7,700円	519万2,700円
副市長	73万4,000円	58万7,200円	278万9,200円
教育長	60万4,000円	54万3,600円	114万7,600円
病院管理者	58万5,000円	52万6,500円	111万1,500円

◎対象となる人数と人件費の増をどの程度見込んでいるか。  
A 8月1日現在、非常勤職員301名、臨時職員53名、パート職員62名がおり、400名を超える方々を任用していく必要がある。期末手当を支給できるとしたことから、年間最大2・6月分支給の予定である。  
◎2年度、5000万円弱の人件費の増を見込む。  
◎国の財政措置はあるのか。  
A 未だ明示されていない。市長会での課題にしたい。

◎会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、本市でも会計年度任用職員制度を導入するにあたり、職員の給与及び費用弁償を条例で定めるもの。

平成30年度 一般会計・特別会計決算

775億円を認定

9月定期議会



市長等の給料の月額の特例に関する条例における採決の様子

9月定期議会は、9月6日から10月1日までの26日間の日程で開催、決算審査特別委員会で審議された30年度決算を認定、その他本会議で審議した一般会計補正予算や条例を含む41議案を原案の通り可決しました。また、一般質問には18人の議員が登壇し、市長にその考えをただしました。

総括質疑

市長の描く登米市像とは何か

佐々木好博 議員  
◎今回の決算から来年度以降の予算編成に向け、市長の目指す「登米市像」を分かり易く示して頂きたい。  
◎より実効性のある行政運営の推進と健全な財政運営の構築を図り「地域の歴史、伝統、文化を大切にした特色あるまち」、「次世代を担う若者たちが集い、地域がふれあう笑顔のあふれるまち」を目指す。

30年度決算からみえる課題について

佐藤恵喜 議員  
◎今回の決算結果から、市長が思い描いた通りの内容であったか。  
◎継続の大型事業などにより投資的経費が多額となり、財政調整基金からの繰り入れを行う大変厳しい財政状況であった。今後は持続可能な財政運営と財政基盤の確立に向け取り組んでいく。

9月定期議会審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議決結果	賛成	反対	採決結果																							
				1 上野 晃	2 曾根 充敏	3 佐々木好博	4 須藤 幸喜	5 岩淵 正弘	6 佐藤千賀子	7 熊谷 和弘	8 日下 俊	9 佐々木幸一	10 氏家 英人	11 工藤 淳子	12 武田 節夫	13 関 孝	14 岩淵 正宏	15 欠 番	16 中澤 宏	17 浅田 修	18 佐藤 恵喜	19 田口 政信	20 沼倉 利光	21 相澤 吉悦	22 熊谷 憲雄	23 及川長太郎	24 八木しみ子
議案第74号 登米市市長等の給与の月額の特例に関する条例の制定について	可決	17	7	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議

※採決結果欄 (○)は賛成、(×)は反対または賛成しなかった者、(欠)は欠席、(議)は議長。

年度別決算状況一覧

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般会計	450億4,985万円	471億 187万円	485億2,662万円	462億2,054万円	528億1,273万円
特別会計	243億4,014万円	271億9,818万円	268億2,788万円	259億2,093万円	247億 259万円
合計	693億8,999万円	743億 5万円	753億5,450万円	721億4,147万円	775億1,532万円

条例の改正（主なもの）

工事請負契約の締結・一般会計補正予算（主なもの）

# ワールドカフェで語ろう 登米市の未来 市民と議会の意見交換会を開催!!



10月10日、11日の二日間、9町域（9会場）で「地域公共交通」「子ども子育て」「登米市の産業」について、「ワールドカフェ」により意見交換会を開催しました。

年代別のワールドカフェもやってほしい!



和やかな雰囲気で見意見交換ができた。



皆様の貴重な意見は、各担当委員会で検討してまいります。ご参加いただきありがとうございました。

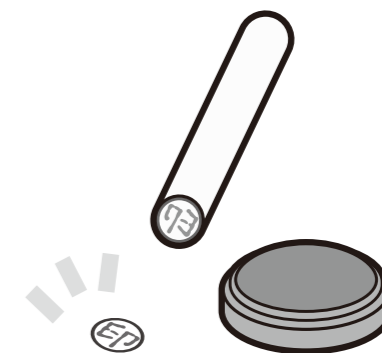


新鮮で有意義でした。



## クリーンセンター条例の一部を改正

新しく出来たクリーンセンターの位置に合わせ、住所の変更を行うもの。



## 印鑑条例の一部を改正

印鑑登録証明書に、これまで登録できなかった旧氏（旧姓）で登録できるようにした。併せて性別の記載を削除した。



補正額 1,595 千円

## 仙台学寮利活用について

31年3月で閉寮した学寮の今後の利活用について、民間事業者等の意見を踏まえ方向性を整理する。



## 工事請負契約の締結

豊里町に整備する「豊里こども園」の建築工事についての契約締結。

契約金額 426,600,000 円

契約の相手 只野組・只野建設特定建設工事共同体



補正額 1,682 千円

## 観光誘客対策事業（宮城オルレ推進事業）

県が推進している韓国版トレッキングコースを開設し、地域の魅力を発信・活用しながらインバンドを含む観光誘客を図るもの。



補正額 17,655 千円

## 幼児教育・保育の無償化

子育て世代の経済的な負担軽減を図るため、10月から無償化に取り組むもの。幼稚園・保育所・認定子ども園を利用する3歳～5歳の子ども全てが対象。

## 決算審査特別委員会

決算審査特別委員会（氏家英人委員長、岩淵正弘副委員長）では、平成30年度一般会計のほか、6特別会計と3企業会計の決算を審査しました。

# お金の使いみち

# お金の

## 決算審査を終えて

合併以来、最大規模となった30年度の決算。会派に配分された持ち時間の中で、各委員による的を絞った質疑が展開されました。委員長として、委員の質問は事業成果に基づいているか、質問に対する執行部の答弁漏れはないかなど、かなり気を使いました。活発な質疑を通じて、しっかりと30年度の事業を振り返りながら、次年度の事業へつながるよう期待します。



氏家英人 委員長

### 一般会計

一般会計は、一般的な行政にかかる経費を扱うものです。本市の30年度決算では歳入541億4386万円、歳出528億1273万円で、歳出の執行率は94・51%でした。また、歳入から歳出を差し引いた額から、翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支は11億746万円であり、このうち5億6000万円が財政調整基金に積み立てられます。

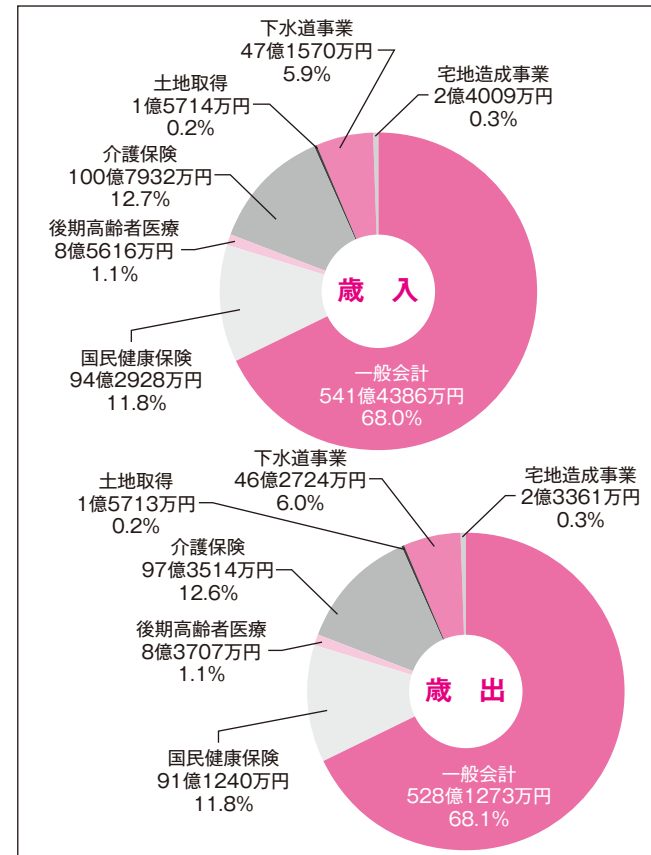
### 特別会計

一般会計から切り離して独立して行われる経理が特別会計です。本市の特別会計は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、土地取得、下水道事業、宅地造成事業の6会計で構成されます。30年度6特別会計の総額は、歳入で254億7769万円、歳出247億259万円となり、翌年度へ繰り出す財源を除いた実質収支は7億6088万円でした。

### 公営企業会計

本市が経営する現業のうち、地方公営企業法の適用を受ける事業で構成されます。独立採算を採るため個別企業会計として扱われます。本市の企業会計は水道事業、病院事業、老人保健施設事業の三事業です。それぞれの損益計算書による30年度収支は下記のとおりです。

事業名	収入	支出
水道事業	24億3,200万円	23億6,904万円
病院事業	57億1,971万円	72億2,132万円
老健施設事業	3億8,078万円	4億 281万円



## きょういく



学校等の施設へのエアコン設置工事実施設計業務について、全員協議会で説明と質疑が1度行われただけである。進め方がおかしくはなかったか。その後、様々検討し決定した。説明や報告が足りなかったことについては、お詫びする。石ノ森章太郎ふるさと記念館を今後、指定管理にすることについての方向性と、状況について伺う。課題を整理し、その後、指定管理について検討する。

## のうぎょう



ニホンジカなどの鳥獣害の増減はどうなっているか、また、現在行っている対策は十分か。被害は、市への申し出をベースにすると、29年度は1159万9千円、30年度は914万3千円と、減少している。対策としては、狩猟免許を持つていてる方で実施隊を設けたり、大型の獣類対策として、防護柵の設置事業などを行っている。

## ふくし



高齢者肺炎球菌感染症予防接種率が10ポイントほど下がっているが、要因は。65歳から5歳刻みで定期接種ができるほか、未接種者も対象としている。未接種者が減ったことが大きい。妊婦歯科検診の受診率が26・4%に留まる。低いと感じているが、対応策は。妊婦歯科検診は30年度から始めた。母子手帳交付の際、受診券を配布し、市内の歯科で受診できるようにしている。が、あらためて勧奨したい。

## せいかつ



移住定住事業による予算措置を年間150万円、上限50万円、最大3件の補助金として実施している。人口減少を食い止めるため、移住定住者を歓迎しなければならぬ施策として、本腰を入れて打ち出しているといえるのか。本市にとって大きな目的を持った事業である。非常に需要が増えてきているものがあり、今後の全体の予算の関係も検討し、整理して再検討をする。



きめ細やかな道路整備事業は、旧町域からのくらの要望があり、何年間待たなくてはいけないか。さらに、現道舗装がメインの本事業は、どのくらいの年間事業費を計上し、何年で終わらせる計画か。合併後全体で709件で、昨年まで403件整備済みである。残りが306件で、今年度から700万円の予算計上となるが、要綱に合致している44件を今後整備すると、約1億円の概算となり、期間は15年程度となる。

# 水道事業所水道施設の状況について



保呂羽浄水場現地調査

**保呂羽浄水場 新田配水池**  
(7月26日現地視察)

**○保呂羽浄水場概要**  
昭和52年度に建設され、建築後40年が経過している。建設当時の浄水(ろ過)濁度は2度を基準に設計されていたが、その後、厚生労働省の指針に基づき、ろ過水濁度0.1度を守ることが必要となった。

**○新田配水池概要**  
東日本大震災により特に大きな被害を受けた迫川西部地区における配水拠点として整備された。新田配水池の完成により、北方配水池とあわせて迫川西部地区の安定給水が図られることになった。

保呂羽浄水場は、昭和52年6月に完成し、約6万8千人に供給している施設で、築40年が経過している。施設の老朽化が著しく、水道事業ビジョンに基づき「水道事業施設更新計画」を策定している。再構築にあたっては、官民連携も視野にあらゆる可能性を調査し、市民の過負担にならない取り組みを期待している。

新田配水池は、23年3月の東日本大震災をふまえて、災害に強い施設の構築を目指し、施設更新委員会の議論を経て、新田地区、南方町及び米山町の登米市の西部地区配水拠点として設置された。新田配水池の4千立方メートルの完成により、有事の際にも一定程度カバーできる体制が整った。通常の管理を充実させ、安定した給水を持続できる体制整備を期待している。

# 行政視察報告

8月6日～8日

**福岡県糸島市**  
「移住・定住促進策の取組」  
糸島市は、福岡市のベッタウンとして栄えてきた。28年から市の業務委託を受託。地元で仕事が回り地域経済循環につながる取り組みを開始。まちの総合力で定住促進を進めている所がよい。子育て・教育・交通・職場・住宅環境の充実。健康づくり・ワークライフバランスなど短期的には、転入者の増加。長期的には転出者の減少、出生数の増加、死亡者の減少などを目標に取り組んでいる。

分に検証すべき事項であり課題でもある。住民ニーズと費用対効果、コンパクトシティ構想を意識して参考とすべき先進事例と見た。

**福岡県八女市**  
「地域公共交通」  
（八女市予約型乗合タクシー）  
今回調査した八女市と本市との違いは、大きく3点ある。  
・実施主体を一所所（予約システムの一元化）で行っている。  
・市内単位で運行事業者を選定している。  
・生活圏を単位として移動範囲を設定している。  
以上の相違点については十

**北海道札幌市**  
「子どもの貧困対策」  
札幌市の独自アンケートでも劣悪な環境に置かれている子どもは、決して少なくない。親の貧困が、子から孫へと続く悪循環の連鎖がある。本市でも子供の貧困の実態調査のためのアンケートが実施された。型通りの調査に終わることなく、各部署間の連携を図りながら、貧困問題解消のための効果的な事業を立ち上げる必要がある。

**福岡県大野城市**  
「統合型行政評価システム」  
「本市の健康診断書」決算カードの知識の蓄積をすることが非常に大切だ。事業の評価という意味では、本来は議会がチェックを行うべきだ。しかし、本市の予算・決算の審査のやり方はあまりに広範囲になっている。それぞれの事業について、詳細に統合型行政評価システムで管理することは困難であると思った。



八女市乗合タクシー予約センター

# 教育民生常任委員会

# 病院事業単年度収支改善計画が必要



登米市民病院

**病院事業会計決算見込み報告**

(7月19日調査)

30年度病院事業会計決算は、市民・豊里病院で入院患者の増加に伴い増収したが、米谷病院で入院患者の減少による入院収益が減収した。登米診療所休診や米谷病院での外来患者数の減少で、全体で前年度より1億6534万9千円減少した。医業外収益では、一般会計繰入金が増額で、前年度より2億9696万9千円増加した。

減価償却費等を除いた当年度の資金収支は3億3310万3千円の減少で、前年度末残高を合わせた前年度末資金不足は10億8588万9千円で、資金不足比率は18.9%となった。  
中長期的な見直しも視野に入れ、単年度収支改善計画が必要である。

**けやき教室及び子どもの心のケアハウス現地調査**

(8月20日調査)

教育委員会教育委員との意見交換会において、現状や今後の運営等について意見が出され、活動状況等を確認するため現地調査を行った。

けやき教室は、学校不適児児童に、自立心や社会性を育て学校生活への復帰を図る施設である。子どもの心のケアハウスは、不登校傾向や震災後の児童生徒として保護者への支援の施設である。



けやき教室現地調査

# 行政視察報告

8月26日～28日

**北海道札幌市**

札幌市の独自アンケートでも劣悪な環境に置かれている子どもは、決して少なくない。親の貧困が、子から孫へと続く悪循環の連鎖がある。本市でも子供の貧困の実態調査のためのアンケートが実施された。型通りの調査に終わることなく、各部署間の連携を図りながら、貧困問題解消のための効果的な事業を立ち上げる必要がある。

**北海道岩見沢市**  
「公立学校の再編整備と小規模特認校の取組み」  
国で示している適正規模は北海道では出来ない、複式学級でも地域の合意が無ければ統合しないという岩見沢スタイル。当市でも規模を標準化した横並びの小、中学校とするのか、登米市スタイルを作り上げていくのか、地域・PTAそして、児童生徒の意見もしっかりと把握し、再編計画を策定しなければなら

**北海道倶知安町**  
「総合診療医の地域における確保・定着」  
新臨床研修制度により地方に研修生が集まらなくなり、経営も厳しくなった。医局を頼らずに再建するため総合診療科を設置した。1名となった医師の能力とクチコミにより11名まで増えた。本市においても、若い研修医が何を研修したいか、意向を尊重しながら環境整備を進め、各病院との連携強化を図りながら地



岩見沢市行政視察



# 市民生活の安定と向上に資する政策を



登米インター工業団地

## 企業立地促進条例改正

(7月8日調査)

条例の目的は、「企業立地の促進を図ることによる地域の産業の振興と雇用の拡大に寄与し、市民生活の安定と向上に資する」とある。

この度の条例改正の内容は、奨励金が現状と比較して大幅な減額となっている。

理由については、近隣自治体との誘致奨励制度の競合が激化する中、本市は県内でも上位の奨励措置を行ってきたが、このままの政策では今後の本市の財政運営において負担になるとの考えと受け止めた。

はたして、改正案が条例本来の目的と相反することにならないか、内容について十分に検討すべきと考える。

## 石越高森公園(チャチャワールドいしこし)及び(株)いしこしの今後の方向性

(7月8日調査)

石越高森公園の基本的な方向性として、市は令和5年度をもって遊園地機能から撤退する。今後の管理については、令和2年度まではパークゴルフ場を市が直営管理、遊園地等施設は指定管理とし、令和3年度から施設全体を指定管理とすることが決まっている。

(株)いしこし(第三セクター)の方向性については、令和5年度までに市保有株の譲渡による完全民営化を図るとしている。

## その他の調査項目

- みやぎ県北高速幹線道路事業(佐沼工区)
- 長沼川河川改修事業

# 行政視察報告

7月24日〜26日

## 富山県小矢部市「おやべ型1%まちづくり事業」

小矢部市では、地域の活性化や特色のあるまちづくりの推進を目的に、市民自らが考え、みんなで一緒に行動する事業に対して、個人市民税の1%に相当する額を財源として交付する事業を実施している。補助金の限度額は、新規事業では30万円となっている。

本市においてもこの取り組みについて調査・研究し、協働のまちづくりを加速させるべきである。

## 富山県南砺市

### 「南砺市クリエイティブラザ」

南砺市は27年4月に「南砺市中小企業・小規模事業者振興基本条例」を制定し、「中小企業、小規模事業の支援」を市の重点施策の一つとして取り組んでいる。その「核」となる施設が自然豊かな里山に建てられたクリエイティブラザである。



黒部市行政視察

考にして検討すべきと感じた。

## 富山県黒部市「コンパクト・プラス・ネットワーク」

30年6月にコンパクトシティや公共交通網の再構築に取り組むモデル都市に選定された。「地元民間企業との連携によるまちづくり」が評価されたとのこと。

本市においても中心地と周辺地域を結ぶ公共交通の確保が課題となっている。黒部市の取り組みを参考に市民・事業者・行政が一体となって進めることが重要である。

# 研修レポート

# 広報広聴委員会

(8月21~22日視察調査)



掛川市議会行政視察

## 静岡県掛川市意見交換会について

各常任委員会が1年間、テーマ制による調査研究を進め、11月の議会報告会において中間報告を行いながら、市民意見を聴取し、検討を重ねている。さらにテーマ2つを取り上げ、全議員で政策討論会を重ね、合意形成を図り、それを提言として取りまとめ、今年3月に議長から市長に提言書を提出している。本市においても、市民の皆様からの意見などを政策や提言に結び付ける方策として参考にしていきたい。

## 静岡県焼津市議会広報の刷新

焼津市議会では、昨年度広報紙をリニューアルした。これは、市民の側に立った広報が何かを見据え、「伝える広報」から「見やすい広報」への刷新である。広報クリニック(地方議会人2016年12月号)での評価診断をもとに、読者の目を引き関心を持ってもらえる、編集となっている。刷新された広報紙は、写真や見出しなど視覚的な工夫がなされ、巻頭特集では学生への取材記事を組むなど、親しみやすさが伝わってくる。本市広報にも大いに参考になる研修であった。



焼津市議会だより

# 議会の動き

7月1日	千葉県習志野市議会 会派「環境みらい」「市民の会」 行政視察 来庁	7月8日	産業建設常任委員会 柴田町議会総務常任委員会 行政視察 来庁
7月3日	議会改革推進会議 会派代表者会議	7月10日	教育民生常任委員会
7月8日	産業建設常任委員会 大崎市議会情報化対策特別委員 会行政視察 来庁	7月20日	教育民生常任委員会
7月9日	大崎市議会情報化対策特別委員 会行政視察 来庁	7月21日	教育民生常任委員会
7月12日	議会改革推進会議 教育民生常任委員会	7月23日	広報広聴委員会 教育民生常任委員会行政視察 (〜22日)
7月19日	議会改革推進会議 広報広聴委員会	7月26日	広報広聴委員会 教育民生常任委員会行政視察 (〜28日)
7月22日	栗原市議会 会派「新清流」 行政視察 来庁	7月30日	政策企画調整会議 議会運営委員会
7月23日	広報広聴委員会	7月31日	政策企画調整会議 議会運営委員会
7月24日	産業建設常任委員会 行政視察(〜26日)	8月1日	議会運営委員会
7月26日	岩手・宮城県際市町村議会議長 会定期総会	8月2日	総務企画常任委員会
7月29日	千葉県八千代市議会 会派「公明党」行政視察 来庁	8月5日	総務企画常任委員会
7月30日	全員協議会	8月6日	総務企画常任委員会
7月31日	政策企画調整会議 奈良県天理市議会文教厚生委員 会行政視察 来庁	8月11日	総務企画常任委員会
8月1日	議会運営委員会	8月12日	総務企画常任委員会
8月2日	総務企画常任委員会	8月17日	総務企画常任委員会
8月5日	広報広聴委員会	8月18日	議会運営委員会
8月6日	総務企画常任委員会 行政視察(〜8日)	8月19日	議会運営委員会
	【福岡県糸島市、八女市、大野城市】	8月20日	議会運営委員会
		8月21日	議会運営委員会
		8月22日	議会運営委員会
		8月23日	議会運営委員会
		8月24日	議会運営委員会
		8月25日	議会運営委員会
		8月26日	議会運営委員会
		8月27日	議会運営委員会
		8月28日	議会運営委員会
		8月29日	議会運営委員会
		8月30日	議会運営委員会
		8月31日	議会運営委員会

### 問 市民病院を石巻赤十字病院分院に

### 答 現状では困難でもある



相澤吉悦 議員

**問** 市長は、今後の市民病院のあり方について、「地方独立行政法人への移行に向けて具体的な検討に着手する。」と

言っている。さらに、「あらゆる可能性を視野に入れて検討していく。」と

言っている。私としては、あらゆる可能性を視野に入れて検討していくのであれば、石巻赤十字病院の分院に市民病院がなれないものか、検討してみても良いのでは。

**答** 分院になるには石巻赤十字病院と同じ経営体になる必要があることから、本市が市民病院とし



あらゆる可能性を検討して病院の再建を



設置している現状では困難であると考え。今後、本市の病院のあり方については市民病院へ急性期医療を集約し、米谷・豊里病院は回復期と慢性期医療を担う病院とし、病床機能を分担の上、中核的病院である登米市民病院を中心とした医療提供体制を構築する。本院、分院についても検討する。



佐々木好博 議員

### 問 森林経営管理法について伺う

### 答 大変重要な政策と認識している

**問** 森林経営管理法についてどの様な認識しているのか。

**答** 市町村が経営管理の委託を受け、意欲ある林業経営者に再委託、または市町村が直接管理を行えるようになったと認識している。これにより荒廃が懸念された森林整備が進むものと考えている。



市内の杉人工林

**問** この制度に対しての行政の対応状況は。

**答** これから森林所有者の意向調査を行う。モデル的に林業経営者が再委託を受けやすい地域で実施に向け調整中である。

**問** 今回の法整備を含めた森林の産業化ビジョンについて伺う。

**答** 林業経営者の育成、森林施業の集約化と機械化を推進する。その上でFSC認証木材の流通加工体制などを整備し、多様な認証製品を消費者に届ける体制構築をしていく。  
**問** 今回の制度の財源である森林環境譲与税は山の少ない都市部に最も多く配分される。その理由は出口対策で、新たな木材消費の市場開拓と拡大の為である。防災対策も考慮した電力自給の為の小規模バイオマス発電や、都市部の森林環境譲与税へのアプローチとして大型建築利用に提供するCLT工場の設置、都市部の人達を呼び込む森林整備を提案するがどうか。  
**答** CLTなどは大変有望な取り組みと考えている。市としても努力していく。



### 問 LGBTQの方に理解と配慮を

### 答 大きな施策研究の課題と考える



熊谷和弘 議員

トランスジェンダー（T）の頭文字をつなげた造語である。

電通が今年1月に発表した調査結果によると、LGBTに該当する人が8.9%に上ったとあった。現在、日本は世界的に見てもLGBTの方にとって住みやすい国とはなっていないと言われている。本市においても同じことが言えると感じて

**問** LGBTQとは性的少数者の総称の一つで、同性愛者のレスビアン（L）とゲイ（G）、両性愛者のバイセクシャル（B）、心と体の性が一致しない



いる。このようなことから、本市の見解を伺う。LGBTへの理解を深めるための「登米市職員ハンドブック」を発行すべきと考えるが。

**答** 啓発資料の作成は有効な方法と考えており、その取り組みを進める。

**問** LGBTQに関する職員啓発研修会を開催すべきと考えるが。

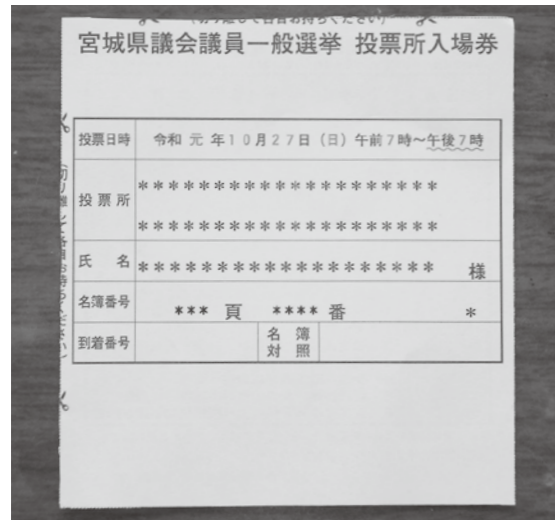
**答** 正しい知識と理解を深めることを目的とした職員研修会を計画する。

**問** 「パートナーシップ制度」を導入すべきと考えるが。

**答** 他自治体の動向等も注視しながら、調査・研究を進める。

**問** 選挙における投票所入場券の性別表記をやめるべきと考えるが。

**答** 10月の宮城県議会議員選挙から対応できるように整理をしている。



男女の記載がなくなった入場券

### 問 パブリックコメントを活かすには

### 答 認知度を高める努力をしていく



曾根充敏 議員

**問** パブリックコメント（意見公募手続き）は、施策の決定において事前に広く一般から意見を聴く重要なツールだ。しかしながら本市で実施してきたパブリックコメントは、意見が少なく、「実績ツール」にさえ映る。本市パブリックコメントの位置付けは。

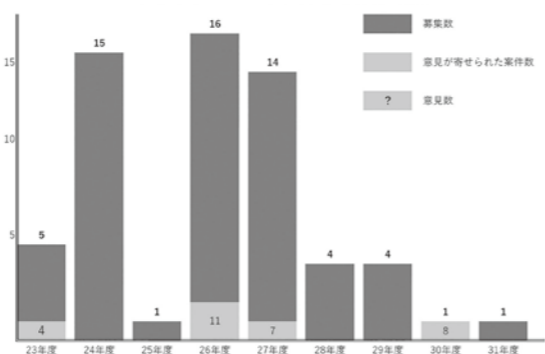
**答** 本市では、施策の形成過程において市民の市政への参加機会を拡大させるものであり、開かれた市政を目指すことを目的に実施している。

**問** 23年度以降の意見公募では60案件中5案件にしか意見がないが、制度そのものの認知

度が低いということが要因と考える。

**問** 基本的なものを作るための重要なツールとして考えるのであれば、もっと工夫をすべきなのではないか。

**答** 認知度を高める努力が欠けていた点は認めざるを得ない。今後、しっかりと認知度を高める努力と連携を進める。



パブリックコメントに対する応募状況



### 学力向上の成果は

**問** 学力調査の分析は、小学校では「書きとり」や「加法乗法混合計算」で全国平均を上回った。中学校では、「数学的な技能」と「英語の書くこと」に課題がある。

**答** 小中学校とも学力向上対策の成果が出ている。全国平均を目標にした

い。

問 懐古館の胸像について

答 総合的に判断した



伊藤 栄 議員

問 懐古館は9月8日にオープンした。旧懐古館は56年前に旧登米名譽町民の渡辺政人氏が資材を投じて、館と

収蔵物を寄贈された。氏の町に対する功績では、特に先の大戦の最中、舟橋(雷神橋)から永久橋の登米大橋建設に尽力、懐古館建設などがあげられる。新懐古館が建設されてもその意思は引き継がれ、玄關脇に胸像設置の計画を議会でも議決されているが、なぜ表門近くに移設したのか。

「みやぎの明治村とよま」の観光の拠点ともなる懐古館である。多くの観光客が入館していたように、学芸員の企画力が問われる。また2年後、小学校4年生の社会科教科書に「みやぎの明治村とよま」が掲載されることから、一層の街並み景観事業を推進しては。

答 渡辺政人氏の胸像は館西側のひさしの下に予定をしていたが、隈設計事務所の設計思想と車椅子の通路として幅員が確保できず、施設全体の設置の観点から移設した。また、「みやぎの明治村とよま」の歴史と文化、街並み景観を観光客が満足するよう取り組んでいく。



新しくなった登米懐古館

その他の質問  
・2号排水路の管理及び環境整備について

問 圃場整備再生計画の推進目的は

答 市農業の更なる発展に資する事業



浅田 修 議員

問 30㍊区画から2㍊区画へ再整備する内容は。

答 大区画化圃場の整備と省力化技術の導入や意欲ある担い手への農地集約の推進及び老朽化した用排水施設の更新及び高収益作物の導入への取組みを指して計画している事業である。30㍊区画で既に整備を終えている、7700㍊分を「初期型圃場整備地域」と位置付け、新たな2㍊区画圃場として再整備する。



大区画化圃場の整備を

問 経費の市負担分と農家負担分は。

答 10㍊当たり概ね200万程度の施工経費であり、基本的に市の負担10%、農家負担12・5%とな

なっているが、整備集積率に依り、農家負担分が最大で12・5%が促進費として交付される。

問 推進体制に課題はないのか。

答 農地の集積集約や農家負担の関係もあり事業同意100%を目指す。また、計画の進捗に合わせ職員の体制も強化する。

登米市農業の方向性は

問 今後ICTを活用したスマート農業の取組は不可欠であると考えられているが、推進方策は。

答 生産の効率化や収益性の向上を可能とする生産基盤の整備など営農体制を構築していく。



問 家族農業重視に政策転換を

答 兼業農家の支援に取り組み



佐藤 恵喜 議員

問 農業の担い手の高齢化。今後、誰が農業をやるのか。市長はこの厳しい現状をどう見ているか。

答 担い手確保策として、スマート農業の推進に努めていく。

問 国連は今年から10年間を「家族農業の10年」と定めた。欧州諸国は、家族農業重視の方向だ。本市の具体策は。

答 市独自の農業機械導入補助金などで、兼業農家を支援している。問 予算は間に合うのか。補正予算を組むべきだ。家族農業の継続発展にとって欠かせないの



は、農産物の価格保証と農家の所得補償だ。安倍政権によって廃止された個別所得補償制度の復活を強く求めるべきではないか。

答 経営所得安定対策と、「生産の目安」による生産調整の取り組みをしているので、制度の復活を求める考えはない。

国保税の引き下げを

問 国保税は、家族の人数に応じて均等割りが課税される。子どもが多い世帯ほど負担増となるのは子育て支援への逆行だ。市独自でも子どもの均等割りの軽減をすべきでは。

答 全国市長会では国に対して、子どもに係る均等割りを軽減する支援制度の創設を要望している。

その他の質問

・市立病院勤務医の働き方改革について  
・無料低額診療制度の導入を

問 高森パークゴルフ場の芝生の枯れは

答 各コースを見回りして確認している



岩瀬 正弘 議員

問 高森パークゴルフ場は6月にオープンして3ヶ月が経過し、ラフの芝枯れ、フェアウェイ芝生の円形枯れ、排水溝付近の根腐れが発生しているが適正な管理を行っているのか。

答 対処方法としては、教育委員会生涯学習課・芝生管理業者・管理運営の支援業務を担っている者の3者で連絡を取り合っている。特に芝生管理業者は日常管理と特殊管理を行い、日々の刈込作業をしながら、異常を発見した場合はその場で対応をしている。対応できない場合はコンサルタン

トに相談し修復、修繕をしていく。

問 芝生が枯れた原因はどうか分析するか。また、対策の方針は。

答 ラフの芝生は、様々な気象条件において常緑が保てるように、寒冷地4種混播のうち対暑性が低い品種が使われている。施肥や散水等を行い回復に努めている。フェアウェイ芝生の円形枯れは、主にさくらの



ミミズとコガネムシによる被害



### 問 給食費の無償化・軽減を

### 答 国の制度通り徴収する



工藤淳子 議員

**問** 保育料無償化で新たに保育軽減財源はどの位か。全国ではこの軽減分を利用して、給食費の無償化や軽減する自治体が多くある。本市でもでき

ないか。滞納が出た場合、保育を中断するの  
か。また、徴収業務など、保育施設への市の支援が必要では。

**答** 無償化による軽減分は、年間で8000万円ほど。市の財政状況を勘案し、月額4500円の徴収額で国の制度通りに取り扱う。滞納については、市が利用調整の役目だと考える。徴収業務の



泥んこ遊びをする子ども達

支援では、十分施設と情報共有しながら行っていく。

### デマンド型乗合タクシー運行について

**問** 令和2年度からの運行事業の実施を希望している各地区の取り組み状況は。また住民説明会やコミュニケーションへの大きな支援が必要では。

**答** 現時点では4つのコミュニティ組織が導入をめざし、準備を進めている。運行主体となるタクシー事業者とも、説明や意見交換を行っている。利用者に満足してもらえよう、今後とも支援していく。

### 市道中通り線における大型自動車の規制を

**問** 安全面で心配との声がある。市として県や警察に要望できないか。

**答** 警察と協議を重ねながら安全・安心な道路となるよう見守っていく。



### 問 公会計制度への取り組みは

### 答 先進自治体を調査研究したい



田口政信 議員

**問** 総務省より公表された統一の基準による地方公会計マニュアルに基づき、財務諸表を作成し、公表することになり、現在の歳入歳出決算書で把握しにくいストック情報、コスト情報、資産、債務状況を見える化し、予算編成や行政評価に活かすことができるかとされているが、取り組みの基本的な考え方は。

**答** 厳しい財政状況の中で、財政の透明性を高め市民に対する説明責任を果たし財政の効率化、適正化を図るため、現金主義会計を補完するものとして、企業会計の考え方や手法を活用した発生主義会計に基づく財務書類等は、平成28年度決算から公表している。

**問** 統一の基準の財務書類をどう分析し利用、活用しているのか。

**答** 活用には至っていない。先進地の取り組みを参考に取組んでいきたい。



千葉県習志野市の財務報告書



**問** 現在取組んでいる公共施設等の総合管理計画の客観的資料として活用できると思うが。

**答** 公共施設の維持管理・修繕・更新等に係る経費の算出やコスト分析し、統廃合の検討、計画的な管理に関する方針等の策定に役立つと考える。

### 問 取り組みのスケジュールは。

**答** 公会計導入の意義を職員に理解させ、先進自治体を調査研究していきたい。

### 問 独立行政法人へ移行の実現性は

### 答 債務超過約18億の解消が必要



沼倉利光 議員

**問** 30年度病院事業の決算について、経常収支比率、人件費比率等、目標数値の確認と決算総括を伺う。独法化へ移行の実現性と臨床研修病院に向

けた現状と独法設立時に、最大一般会計の繰入はどの程度になるか伺う。

**答** 当初予算時目標数値の経常収支比率は93.8%、決算は91.0%で2.8%低い、人件費比率は当初63.7%で決算は64.9%で1.2%高い。医業収益で約1億6534万円減、経常損失は約6億7295万円、年度末資金不足額は約10億8



### 問 今後の財政見通しについて

### 答 歳入に見合った財政規模へ



日下 俊 議員

**問** 今後の財政運営で重点に取組むべき点は。

**答** 歳入に見合った適正な財政規模への移行と、より一層の歳出削減や歳入確保を図ることを最重点に取組んでいく。

**問** 財政確保の手段は考えているのか。

**答** 処分可能な遊休財産の売却や貸付を積極的に推進するなど可能性を模索していき経常経費も見直していく。

**問** 補助金や減免に対する見直しは。

**答** 補助対象経費の明確化と補助率上限の見直しや適用期間を3年とし、3年に1回更新審査する。消費税アップに伴い



市民と共に



**問** 今後財政の問題点は。

**答** 現在の運営では財政調整基金が数年後には枯渇が懸念され、予算総額のダウンサイジングを早急に進めなければならぬ。また、短期間に多くの施設整備をしたため、起債の償還や施設維持管理料が重い負担となる。

**問** 歳入確保の手段としてふるさ納税がある。3割返礼プラス前年度納税の方にポイント分を付与して歳入の柱にしては。

**答** 現在、ふるさと納税で3割返礼及び経費を含め半分までという縛りがあるが、工夫してしっかりと取組んでいきたい。

**問** 病院事業は市民が病院を育てるような形にすべきではないか。

**答** 全職員で取組む。



休診となる、よねやま診療所

問 再編後の廃校施設の活用策は

答 集約化を推進し廃止や除却等の検討



武田節夫 議員

鳥取県智頭町で廃校の跡地を利用しキクラゲ栽培している施設を調査して来た。給食室の跡地にビニールハウスを建て、菌床栽培により雇用

の増大につながり一定の成果を収めている。このような事例の取り組みをどう思うか。  
答 学校の特色を生かして考えていきたい。地域に雇用と所得を生み出す事につながると思う。  
問 中学校の再編に向けた具体的な考え方は。  
答 小学校と同時に生徒数の減少が進み、学習指導体制の確保や部活動の



廃校の跡地を利用したキクラゲ栽培施設(鳥取県智頭町)

運営が困難になりつつある事から、早期の再編が望ましいと考えている。  
問 中学校は小学校と違い大きな課題を抱えている。将来的な生徒数から市内に何校が必要と考えているか。  
答 4校で済むと考えているが、諸条件があるので何校と絞った考えはできない。  
待機児童について  
問 希望する保育園に入園出来ているか。  
答 就労の状況などで利用指数が低い場合には、希望どおり保育所等に入所できない状況もある。  
問 兄弟が同じ保育園に入れなく苦慮している。今後どう取り組むか。  
答 基本指数、加算指数も検証し保護者のニーズに添えるよう調整を行う。



問 登米市図書館の建設について

答 今後のまちづくりの中で



八木しみ子 議員

市民サービスの質の向上が求められる時代にあつて、如何にまちづくりを展開する考えなのか。図書館建設は以前から市民要望が強く、是非とも必要な施設である。後回はまた続くのか。  
答 図書館は、生涯学習を進める上で無くてはならない重要な社会教育施設である。現在の迫図書館や登米図書館は蔵書数も少なく現状の規模や機能は市民の期待には応じていない状況にある。  
今後、市図書館構想を基に基本計画を作成することになるが、財政は厳しい状況にあり、活用できる補助金や交付金等について模索中である。  
問 建設するとすればいつ頃か。  
答 建設場所や事業費の検討、財源調整がまとまり次第、可能な限り早期に基本計画を作成し建設年次等を示したいと考えている。  
問 9町域図書室の充実、整備といった遠隔地対策については。  
答 現在、構築されているネットワークシステムを拡大し利用しやすい体制整備を検討していく。  
問 地方分権の時代、今こそ市長は、未来に向けた登米市のグランドデザインを示すべきでは。  
答 合併して十数年、いよいよ成熟期を迎える時期に来たと思う。市政運営にしっかりと取り組む。



市立迫図書館



問 産前・産後ケアセンター開設を

答 安心して産み育てる支援体制検討



中澤 宏 議員

幸福感に満ちた出産のための産前・産後ケアセンターを設置する考えはないか。まずは、産後の大切な時期の心とからだに寄り添う支援について。

産後ケアセンターは、国のガイドラインにおいて、産後ケア事業に位置付けられ、出産医療機関退院後から、産後4カ月を目安に、病院や診療所、助産所において、宿泊またはデイサービス、訪問により助産師等の看護師職を中心となり、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセ



問 努力成果を管理料削減とする考えは

答 良き方策を相談し意見を聞き進める



須藤幸喜 議員

指定管理者は、必死に安定した経営を目指して日夜奮闘しているが、改善等の見込みが立たず、今後の経営に難色を示している現状に、市としての今後の方針を伺う。  
答 改めて協定を締結する施設は、見込まれる収益の一部を収入として積算し、指定管理料の上限額から削減する。  
また、実績を基に、収益の2分の1の金額を市に納付いただく。  
問 管理者は努力を行っている。「生かさず殺さず」といった考えは「もつてのほか」である。報われる施策であるべきではないか。  
答 言われることはそのとおりで、勉強不足であったことは多分にあつた。指定管理者より聞き取りをし、事実を把握したい。  
問 指定管理施設には、多くの観光客等が来る。しかし、対応職員が1名体制となっている現状で、地震・火災・不審者等が発生した場合の対応に疑問があるが。  
答 市全体での指定管理のあり方の一例でもあると思う。今後、より良い方策を議会とも相談し、受託者の皆さん方の意見も十分に聞き、進めて行く。



指定管理を受けている施設



母子に寄り添い、より幸福感に満ちた子育てのために

### 問 ストリートピアノで音楽のまちに

答 先進事例を参考に設置に取り組む



氏家英人 議員

問 街角や商店街、駅や市役所、観光施設などにさり気なく置かれたストリートピアノ。通りがかった市民が思い思いの曲を弾き、道行く人の足を止ませせ心を和ませる。ピアノについては、閉校になった学校のもを再利用、または、娘が嫁ぎ、長年家で眠っていたピアノを寄贈していただくケースが多いという。

答 各地で広がりを見せているストリートピアノは素晴らしい取組であると考えています。本市においても設置主体や場所、設置の事例を参考にしながら設置に向けて取り組む。

### 地域おこし協力隊へのサポートを

問 任期終了後に定住できるようなサポートをしているのか。

答 隊員の市内定住に向けて、起業や就業、就農等の支援は重要であると考えて、国及び県が実施している初任者研修やステップアップ研修、起業・事業化研修への参加を積極的に奨励している。



弾く人も聴く人も心が和むストリートピアノ (提供元「株式会社南三陸まちづくり未来」)

### 問 県北高速道路周辺の安全対策は

答 県に機会をとらえて要望していく



関孝 議員

問 県では、みやぎ県北高速幹線道路佐沼工区に接続する国道398号を改良し拡幅、歩道を整備するなど、「新大瀬道路改良事業」を計画している。計画区間の先には、長沼工業団地に接続する市道の整備が計画されており、通勤・輸送車両の増加が見込まれる。通学者や歩行者等の更なる安全性の確保からも、計画区間の延長整備を県に働きかけるべきだ。



安全対策が必要な国道398号線 (迫町西館から舟橋)

### 市民目線の予算編成を

問 歳入の減額が予想される中、令和2年度予算編成の課題と基本方針は。

答 財源の確保が大きな課題。普通交付税は合併算定替のため、3億円程度の減額が予想される。全職員が財政の健全化に向けて取り組み、持続可能な財政の確立を目指す。

問 利用者の安全性に課題はないか。

答 利用者の安全性や緊急性を考慮しているが、全ての課題と要望には対応できてはいない。

### 議員さん方に感謝とお願い



伊藤裕麻さん (迫)

議員の皆さまには日頃から僕たち市民の声を市政に届けて頂き本当に感謝しております。

僕は生家である長沼のほとりで花弁園芸を生業にしています。おかげさまで幼い頃と比べて随分暮らしやすくなりました。長沼の水が綺麗になって虫の害が減り、大きな道路が通って出荷のトラックが通りやすくなりました。

これも街の誰かの意見を反映してきた結果であると思います。

いま、市では人口減少など様々な課題がありますが、僕の暮らす迫町新田地区ではこの一年で10人以上人口が増えるなど、少しずつ対策効果が表れていると感じます。

花と同じように、環境や状態を見て必要な処置を行ってあげば、きっと街も良くなっていくと思います。どうか議員の皆さまにも、花を慈しむような気持ちで街を育てて頂ければ幸いです。

### ぜひ登米市女性消防団へ

登米市消防団の団員数が減少を続けています。「消防団は必要ないのではないか」という声も聴いたことがあります。

でも、どうでしょう。日頃地域の安全、安心を守るため、消防団は活躍しています。減少を続ける男性消防団員が奮闘する中、女性消防団員でも独自の活躍をされており、火災予防のための広報活動、いざという時、要救助者の命を守るための救急救命講習会、人形劇で子供たちの防災意識を高める等、様々な活動をしています。

その消防団員も65歳で定年という決まりがあり、男性団員も様減少が続いています。登米市女性消防団には現在、学生の団員も1名おられます。そして産休からの広報活動へ復帰した団員もおります。周りの先輩団員もとても理解のある人たちばかりです。この素敵な女性消防団で地域の安心・安全を守っていきましょ。



鈴木すす江さん (米山)

### 日々思ひごと



小寺まさ江さん (豊里)

登米市に生まれて育ち、今は家族六人で暮らし、同じ校歌を三世代で歌える幸せをしみじみ感じながら、六十代最後の日々を大切に過ごしています。

若い頃は仙台・青森・フランスと生まれ故郷を離れて色々な街で生活をしてきました。異なる土地で色々な文化に接し、貴重な体験もしました。その後、生まれ故郷に戻り、改めて登米市の素晴らしい文化に気づきました。それらを受け継ぎながら地域の活性化をめざしている今の登米市は素晴らしい街です。そして私はそんな登米市が大好きです。

最後に登米市に望むことは、もう一度気仙沼線が復活し、豊里から乗り換えなしで仙台まで行けたらと思います。車内で気仙沼からのお客さんと会話をすることも私の楽しみの一つでした。これが夢で終わることのないよう宜しくお願いします。

# あなたの声 市民メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。



千葉 幸毅氏 (東和)

人権擁護委員候補者の  
推薦に同意

人事

意見書

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書

○小・中学校全校学年での少人数学級の実施並びに特別支援学級の編成基準を8名から6名にすることを求める意見書  
提案された意見書は、本会議で可決し、関係機関へ送付しました。

台風19号で被災された皆様へ

このたびの台風19号で犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に対しまして心からお見舞い申し上げます。

登米市議会

第30回長沼レガッタに参加しました



9月22日にアイエス総合ボートランド(長沼ボート場)において、第30回長沼レガッタが開催されました。議会も昨年に引き続き参加。気持ちのいい汗を流し、市民皆さまとスポーツの秋のひと時を過ごしました。参加した議員は、来年のレガッタを誓っていました。

議会からのお知らせ

12月定期議会

12月6日(金) 開会予定

傍聴してみませんか。

本会議は、簡単な手続きで、個人でも団体でもお気軽に傍聴することができます。

議会中継がスマホでも!

令和元年6月定期議会分から見られます。



※スマートフォンでの視聴はパケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信料が高額になる場合がありますので注意してください。

あとがき

はじめに、台風19号による被害に遭われた市民の皆様には心からお見舞いを申し上げます。今回の60号では、

力しております。限られた紙面の中ではありますが、これからも市民に開かれた身近な広報誌となるように努力して参ります。(佐々木好博)

決算や子供議会など市民皆様にお伝えしなければならぬ情報等も数多くあり、台風被害の状況を含め、急遽ページ数を増やしてお伝えすることにいたしました。広報広聴委員会では、少しでも多くの情報をより分かり易く、より多くの方々に伝わる様に、常に検討を重ね努

- 広報広聴委員会
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 熊谷 和弘 |
| 副委員長 | 佐々木好博 |
| 委員   | 上野 晃  |
|      | 曾根 充敏 |
|      | 須藤 幸喜 |
|      | 岩淵 正弘 |
|      | 佐藤千賀子 |
|      | 関 孝   |
|      | 岩淵 正宏 |
- 議長 及川 昌憲

議会のfacebookも開設しています。



いいね!をお願いします

